

平成 28(2016)年 9 月 28 日 報道発表資料

[本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 松本、長野
TEL:075-771-6051(9:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekvoto.jp

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。10月のロームシアター京都での催物ほかのご案内です。どうぞご注目、ご取材のほど、よろしくお願いいたします。

<トピックス>

- ◆ 【取材案内】10/8(土)開催 マリインスキー・オペラ「エフゲニー・オネーギン」
- ◆ 「深川秀夫版「白鳥の湖」全幕公演」最終リハーサル(ゲネプロ)の公開決定のお知らせ
- ◆ パークプラザ内で開催するイベントご案内

10月8日(土)開催 ロームシアター京都オープニング事業

ワレリー・ゲルギエフ 芸術総監督・指揮 マリインスキー・オペラ「エフゲニー・オネーギン」のご案内

ロシアの世界的なオペラハウス「マリインスキー劇場」の京都初公演。

劇場のオープンを祝うためにゲルギエフが厳選した自信作で、ロームシアター京都に登場!



V. ゲルギエフ (c) Alexander Shapunov



(c) N. Razina



(c) N. Razina

マリインスキー劇場の総裁でもある巨匠ゲルギエフが厳選した自信作、チャイコフスキーの「エフゲニー・オネーギン」を最新演出(アレクセイ・ステパニユク演出/2014年プレミア)で上演します。

指揮: ワレリー・ゲルギエフ/管弦楽: マリインスキー歌劇場管弦楽団/合唱: マリインスキー歌劇場合唱団

オネーギン: アレクセイ・マルコフ(バリトン) タチャーナ: マリア・バヤンキナ(ソプラノ)

レンスキー: エフゲニー・アフメドフ(テノール) オルガ: エカテリーナ・セルゲイエフ(メゾ・ソプラノ)

グレーミン侯爵: エドワルド・ツァンガ(バス・バリトン)

日時: 2016年10月8日(土) 午後2時00分開演(上演時間3時間40分、休憩含む)

会場: メインホール

料金: S席 39,000円 A席 27,000円(B・C・D席 前売券販売終了)

主催: 京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

特別協賛: 三井住友銀行 協賛: 株式会社京都確認検査機構

<取材案内>

マリインスキー・オペラ「エフゲニー・オネーギン」について、ご多忙とは存じますが、是非とも取材いただきますようお願い申し上げます。取材いただける場合は、別紙の出席確認票を10月3日(月)までにFAXにてロームシアター京都(送付先:075-746-3366)に送付いただきますようお願い申し上げます。

ロームシアター京都オープニング事業「深川秀夫版「白鳥の湖」全幕公演」 最終リハーサルの公開決定のお知らせ

2016年11月20日(日) ロームシアター京都メインホールにて開催する、深川秀夫版「白鳥の湖」全幕公演について、席数を大きく上回るチケットの購入希望をいただいたことを受け、最終リハーサルの公開が決定いたしました。つきましては、参加希望者を募集いたします。皆様のご応募をお待ちしております！

日時：2016年11月19日(土) 午後2時30分開演(終了予定時刻 午後5時30分)

会場：メインホール

料金：無料、要申込(多数抽選)

申込受付期間：2016年9月28日(水)～10月10日(月)

お1人様1通(WEBフォームは1回)のみ、1応募につき2名様までお申込みいただけます。

申込多数の場合は抽選。参加の可否は返信はがき又はメールにて、10月下旬頃にお知らせします。

応募方法：往復はがき又はwebフォームよりお申し込みください。

(1) 往復はがき(締切日必着)

往復はがきに①及び②の内容を記載のうえ、③の申込先まで郵送してください。

①往復はがき…氏名、参加人数、電話番号

②返信はがき…宛名面に、申込者の郵便番号、住所、氏名

③申込先 〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13 ロームシアター京都「白鳥の湖」全幕公演 最終リハーサル係

(2) webフォーム(締切日の20:00まで受付)

[ロームシアター京都 WEB サイト \(http://rohmtheatrekkyoto.jp/\)](http://rohmtheatrekkyoto.jp/) 内の応募フォームよりご応募ください。

このほか注意事項等についての詳細は[ロームシアター京都 WEB サイト](http://rohmtheatrekkyoto.jp/)をご覧ください。

主催：京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

公益財団法人京都市芸術文化協会、全京都洋舞協議会



深川秀夫



リハーサル風景



【本件に関する問合せ先】

問合せ先：ロームシアター京都(担当：河本) TEL:075-771-6051

パークプラザ内で開催する展示・イベントのご案内

9月27日(火)～11月30日(水) ※11月11日～13日は、イベント開催・準備のため展示会はありません。

ローム ミュージック ファンデーション × 新国立劇場

オペラの扉 ～KNOCK THE DOOR, OPERA EXHIBITION～



チラシ画像

「新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室・関西公演」を初めて京都で公演することに合わせ、今回の「フィガロの結婚」だけでなく、これまでに新国立劇場で上演されたオペラ公演の舞台写真、実際に使用された衣装、舞台模型などの貴重な資料を展示します。代表的なオペラ作品の解説も展示する、オペラを知るきっかけとなる展示会です。

会場：ミュージックサロン（パークプラザ3階）



展示イメージ

料金：入場無料

(10:00～19:00 入室可 / 入退場自由)

主催：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション、
公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
共催：新国立劇場 協賛：ローム株式会社
制作：新国立劇場

★このほかのミュージックサロンイベントご案内★

「ROHM CLASSIC SPECIAL トランペットの魅力、再発見！ ～ロシア音楽・ロマン派の旅～

お話と演奏(トランペット): 菊本和昭 お話と演奏(ピアノ): 佐竹裕介

日時: 2016年11月12日(土) 15:00 開演 16:30 終演予定

入場無料(事前申込制。申込者多数の場合は抽選)。

詳細はロームミュージックファンデーションホームページ(<http://micro.rohm.com/jp/rmf/>)等でお知らせします。

応募受付期間: 2016年10月1日(土)～10月31日(月)必着

10月1日(土)18:00 開始

高山なおみ『帰ってきた 日々ごはん②』刊行記念 高山なおみ×鈴木 潤トークイベント



料理人、文筆家として活躍する高山なおみさんの人気シリーズ『帰ってきた日々ごはん』の新刊、2巻刊行を記念しトークイベントを開催いたします。対談相手には、子どもの絵本専門店「メリーゴランド京都」の店長、鈴木潤さん。本のこと、ごはんのこと、暮らしのことなどについて、お話をさせていただきます。

また、『帰ってきた 日々ごはん②』をどこよりも早く先行発売！トーク終了後にはおふたりの著作を販売し、購入者限定でサイン会も行います。

高山なおみプロフィール:

1958年静岡県生まれ。レストランのシェフを経て、料理家になる。

におい、味わい、手ざわり、色、音……日々五感を開いて食材との対話を重ね、生み出されるシンプルで力強い料理は、作ること、食べることの楽しさを素直に思い出させてくれる。また、料理と同じく、からだの実感に裏打ちされた文章への評価も高い。著書に『日々ごはん①～②』、『料理＝高山なおみ』、『ロシア日記』、『新装 高山なおみの料理』、『はなべろ読書記』、料理本『実用の料理 ごはん』など多数。最近は絵本にも取り組んでおり、『どもるどだっく』、最新刊の『たべたあい』(いずれも絵・中野真典)など。

公式ホームページ <http://www.fukuu.com>

会場：パークプラザ3階共通ロビー（定員60名）

申込方法：要予約。予約方法の詳細は[京都岡崎 薦屋書店 WEB サイト](#)参照

参加費：1,000円(税込)※サイン希望の方は別途書籍購入が必要です

10月10日(月・祝)18:00 開始

KYOTO EXPERIMENT 2016 AUTUMN プレイベント

『Baling(バリン)』連続トーク(2)片岡真実「現代アートから見るマレーシア」



片岡真実氏

「KYOTO EXPERIMENT 2016 AUTUMN」公式プログラムとしてノースホールで公演を行う、マレーシアのアーティスト、マーク・テによる『Baling(バリン)』。本作は、1955年にマラヤ・バリンで行われ、のちに「バリン会談」と呼ばれるマレーシアの現代史にとって非常に重要な出来事を基にしています。このたび、上演にあわせ本作および現代マレーシアの芸術表現とその背景を知るためのレクチャーを開催します。本レクチャーでは、東南アジアに焦点をあてる展覧会(2017年開催)を準備中の森美術館チーフ・キュレーター片岡真実氏をお迎えし、長年アジアを取り巻く環境を広い視点で捉えてきた片岡氏から、現代美術表現の側面からのマレーシアの現在についてお話いただきます。

片岡真実プロフィール:

森美術館チーフ・キュレーター。ニッセイ基礎研究所都市開発部、東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーターを経て、2003年より現職。2007年から2009年はヘイワード・ギャラリー(ロンドン)にて、インターナショナル・キュレーターを兼務。第9回光州ビエンナーレ(2012年)共同芸術監督、CIMAM(国際美術館会議)理事(2014-2016年)。グッゲンハイム美術館アジア・アートカウンシル・メンバー、ユーレンス現代美術センター(北京)アドバイザー・ボードなどを務める。日本及びアジアの現代アートを中心に企画・執筆・講演等多数。2016年度より、京都造形芸術大学大学院教授。2018年の第21回シドニー・ビエンナーレ芸術監督。



マレーシアのアートスペース Findars

会場:ロームシアター京都 3階 会議室 2

料金:無料、要予約。予約方法の詳細は[イベント詳細ページ](#)参照

10月22日(土) 11:00~17:00「京の手づくりマルシェ」



《本来のものづくりを伝えたい。～作り手の顔が見えるモノづくり～》がテーマのマルシェ。毎月第4土曜日に、京都岡崎 蔦屋書店前二条通側オープンスペースで開催します。出展者がキュレーターとなって選書した書籍も各店舗にて紹介し、京都・岡崎の人々が「ふれる、知れる、感じる」ことのできるマルシェです。

会場:京都岡崎 蔦屋書店前二条通側オープンスペース

前回出展者:山田製油(ごま・ごま油)、津乃古(佃煮・お出汁)、musubi-ya(野菜・雑貨)、Au Bon Miel(純粋はちみつ)、ハム工房古都(ハム・ソーセージ・ベーコン)、大安(漬物)、オリブホットハウス(農産加工品、お弁当)、すみれや(乾物・生活雑貨)、ほんぼこらんど(農産品)、お米のお菓子コメっこ(米粉スイーツ)

11月6日(日)10:00 開始

KYOTO EXPERIMENT 2016 AUTUMN 関連イベント

池澤夏樹×木ノ下裕一「古典と向き合う -文学と演劇-」



池澤夏樹



木ノ下裕一

いまの私たちにとって古典とは何か?

当代の作家が古典名作を現代の言葉に訳す「日本文学全集」を個人編集する作家・詩人の池澤夏樹と、今秋のロームシアター京都オープニング事業「KYOTO EXPERIMENT」にも参加し、現代における歌舞伎のあり方を問う木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一が、文学と演劇、それぞれの過去を現代に、そして未来へとつなげる試みについて対談します。

池澤夏樹プロフィール:

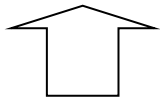
1945年生まれ。作家・詩人。88年『スティル・ライフ』で芥川賞、93年『マシアス・ギリの失脚』で谷崎潤一郎賞、2010年「池澤夏樹=個人編集 世界文学全集」で毎日出版文化賞、11年朝日賞、ほか多数受賞。2014年より「池澤夏樹=個人編集 日本文学全集」全30巻を刊行開始。第1巻『古事記』を新訳した。

木ノ下裕一プロフィール:

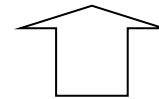
1985年生まれ。2006年に古典演目上演の演出や補綴・監修を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。2014年より公益財団法人セゾン文化財団ジュニア・フェロー。2015年『三人吉三』で読売演劇大賞 2015年上半期作品賞ノミネート。2016年博士号(芸術博士)取得。古典芸能に関する執筆、講座などでも活躍中。木ノ下歌舞伎は、KYOTO EXPERIMENT 2016 AUTUMNにて「勸進帳」を上演予定(11/3-6)。

会場:パークプラザ 3階 共通ロビー

料金:無料(予約不要)



ロームシアター京都 宛



FAX:075-746-3366

ワレリー・ゲルギエフ 芸術総監督・指揮
マリインスキー・オペラ「エフゲニー・オネーギン」

- (1) 日 時 平成28年10月8日(土)
開演：午後2時00分開演(午後1時15分開場)
※上演時間3時間40分、休憩含む
- (2) 場 所 ロームシアター京都 メインホール

御芳名	
媒体名 貴社名	
TEL	() - ※当日連絡可能な連絡先 () -
FAX	() -
備考	

- ◆平成28年10月3日(月)までに本票をFAXにて(075-746-3366)送付願います。
- ◆当日は、本票をメインホール入口の「プレス受付」に御提示ください。
- ◆上演中のスチール、ビデオ撮影はご遠慮ください。後日、公式の舞台写真をお渡しできますので、ご使用の際はお問い合わせください。
- ◆駐車場はございません。公共交通機関を御利用いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場を御利用ください。